

出雲ブロック

課題や特徴的な取り組み・共有したいコトモノ

しまねリハビリテーションネットワーク 出雲ブロック理事
森脇 繁登
(島根大学医学部附属病院, 作業療法士)



役員紹介

理事

森脇繁登

(作業療法士)

島根大学医学部附属病院

役員

三島佳祐

(理学療法士)

出雲市民リハビリテーション病院

神田一路

(理学療法士)

リハプランいずも合同会社

太田珠代

(理学療法士)

出雲医療看護専門学校

石田史穂

(作業療法士)

島根大学医学部附属病院

稗田朝海

(作業療法士)

島根大学医学部附属病院

加茂昌子

(言語聴覚士)

介護老人福祉施設 寿生苑

景山洋一郎

(言語聴覚士)

出雲市民リハビリテーション病院

藤江美穂

(言語聴覚士)

出雲市立総合医療センター



出雲市

人口 171,938人 ;2015年

高齢者人口 49,563人（高齢化率29.1%） ; 2015年

第8期（2021-2023年）島根県老人福祉計画 島根県介護保険事業支援計画

外国人住民 4,541人（総人口2.6%） ;2020年

○地域別の人口及び高齢者数【令和2年(2020)9月末時点】

（単位：人、%）

地域	人口	高齢者人口	前期後期人数・割合			高齢化率
			前期高齢者	後期高齢者		
			65歳～74歳	75歳～84歳	85歳～	
出雲地域	94,474	25,067	12,143 (48.4)	7,913 (31.6)	5,011 (20.0)	26.5
平田地域	24,566	8,766	4,182 (47.7)	2,743 (31.3)	1,841 (21.0)	35.7
佐田地域	3,134	1,452	654 (45.0)	422 (29.1)	376 (25.9)	46.3
多伎地域	3,319	1,396	673 (48.2)	392 (28.1)	331 (23.7)	42.1
湖陵地域	5,158	1,910	955 (50.0)	570 (29.8)	385 (20.2)	37.0
大社地域	14,418	5,386	2,413 (44.8)	1,732 (32.2)	1,241 (23.0)	37.4
斐川地域	29,617	8,180	3,944 (48.2)	2,622 (32.1)	1,614 (19.7)	27.6
合計	174,686	52,157	24,964 (47.9)	16,394 (31.4)	10,799 (20.7)	29.9

医療介護資源は比較的豊富
市内の地域偏在あり

第8期（2021-2023年）出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画



島根移住体感ツアー

https://www.teiju.or.jp/shimane_onlinetour/izumo/

出雲リハケアネットについて

代 表：酒井康生(島根大学医学部附属病院)

【沿革：2012年10月 設 立】

2013年～2015年度

島根県在宅医療連携推進事業として認可（受託：出雲医師会）

2016年度～

出雲市在宅医療・介護連携推進事業の取組み団体として認可

【目 標】

- ①急性期から在宅までリハビリに関して顔の見える双方向性の連携を作る
- ②在宅関係者が勉強会を通してリハビリ評価に慣れていく



リハビリテーション視点の多職種連携に資する活動

出雲リハケアネットについて

主な活動

- FIMプロモーション部

FIM訪問セミナー

多職種連携をテーマとした各種研修会

- 地域リハビリ部

リハビリ専門職派遣

地域ケア個別会議、通いの場、通いの場立上げ支援

住宅改修 & 福祉用具貸与の適正チェックなど

出雲圏域版 FIMポケットマニュアル

第3版

現場で“している”ADL評価

第一部 FIMの早見表

第二部 FIMの具体例

第三部 Q & A

島根県観光キャラクター
「しまねっこ」



鳥獣運許第 6095 号

出雲市在宅医療・介護連携推進事業

出雲リハケアネット



しまねリハビリテーションネットワーク

SHIMANE REHABILITATION NETWORK

役員会議で議論

第1回：6月9日（金）19:00-21:00
オンライン

第2回：8月19日（土）19:00-21:00
島根大学医学部附属病院



写真とりわすれ（汗）

役員会議で議論

出雲は医療連携のベースはできていると感じる。

顔の見える関係が、まだまだ不十分な感じがする。

リハケアネットは少数精鋭、通いの場や地域ケア会議にしても参加してくれるメンバーは固定化されているのが実情。実行部隊が不足しているため対象者への支援に時間がかかることも。

通いの場にしても、地域ケア会議にしても、参加するには職場の理解が必要。多くはセラピストは、職場の理解が得られないところが多い。

地域支援活動には、もっと広く色々なセラピストが関わってくれば良いと思っている。

出雲ブロック役員で検討した課題

課題 1 : 医療の連携ベースは比較的整備されているように見えるが、部分的であり限局的な連携にとどまっている

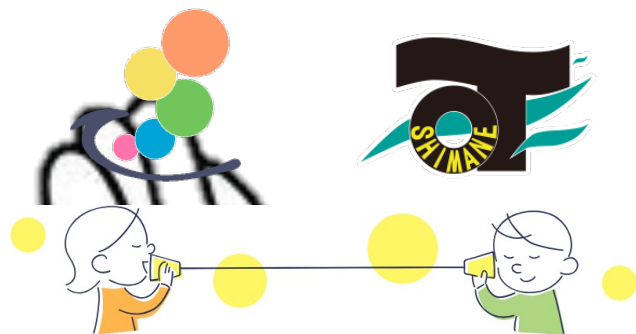
課題 2 : 既存団体における活動は限られたセラピストの活動が目立ち、医療介護における多職種連携は課題が山積し、特にタイムリーな課題解決に至っていない



共に学ぶ 共に動く 共に育て・支える

【職能団体】

専門的な知識・技術を支援



【リハケアネット】

医療-医療、医療-介護の
多職種連携を支援



【しまねリハビリテーションネットワーク】
連携の礎を育むための支援

2024年度の活動①

研修会の開催

目的①：出雲の未来を**知る**

出雲の実情を知る
一人一人ができることを考える

目的②：出雲の未来を**創る**

市内セラピストのより良い繋がりの一助とする
タイムリーな課題解決の方法を検討

しまねリハビリテーションネットワーク

出雲ブロック 研修会

出雲の未来を「語り」「創る」ための研修会

開催日	開始時間	場所
未定	18:30- 18:00受付開始	出雲ロイヤルホテル (仮)

第一部 18:30-19:30
-出雲の未来を知る-

第二部 19:30-21:00
-出雲の未来を創る-

出雲市役所
調整中

医療介護構想から考える
セラピストへの期待 (仮)

飯南町
地域包括ケアセンター
嘉田 将典 氏
主任介護支援専門員
理学療法士 (介護予防・健康増進/参加)

行政セラピストについて (仮)

2024年度の活動②

出雲市における行政セラピストの必要性についての 提言書作成に向けた検討開始

(趣旨)

地域課題等に関してタイムリーな課題解決に向けた
行政にセラピストの配属についての提言

(作成元)

しまねリハビリテーションネットワーク-出雲ブロック-
各専門職の職能団体

提 言 書

2021 年 8 月